

問1 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。 | 2. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。 | 3. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。 | 4. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため |
|--|---|--|--|

問2 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|--|--|--|
| 1. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。 | 2. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。 | 3. 大消費地に近い立地を活かし、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。 | 4. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。 |
|-------------------------------------|--|--|--|

問3 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 2. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。 | 3. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 4. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。 |
|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|

問4 北海道では、小麦や小豆などの畑作物の生産割合が全国の過半数を超える圧倒的なシェアを占めています。このような高い生産力を支えている北海道の農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を活用した大規模農業が行われている点 | 2. 夏でも温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を作る二期作が行われている点 | 3. 消費地に近い利点を活かし、ビニールハウスなどの施設を用いて出荷時期を早める促成栽培が行われている点 | 4. 山がちな地形を活かした段々畑が整備され、果樹栽培と稲作を組み合わせた複合経営が行われている点 |
|--|--|--|---|

問5 北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 西側に石狩平野、東側に十勝平野 | 2. 西側に十勝平野、東側に石狩平野 | 3. 西側に根釧台地、東側に十勝平野 | 4. 西側に石狩平野、東側に根釧台地 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

問6 北海道の十勝平野などで見られる、一つの耕地をいくつかの区画に分け、年度ごとにジャガイモ、小麦、てん菜（ビート）、豆類などの異なる作物を順番に栽培する農業手法を何といいますか。（2024年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| 1. 輪作 | 2. 二毛作 | 3. 転作 | 4. 二期作 |
|-------|--------|-------|--------|

問7 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 客土 | 2. 干拓 | 3. 輪作 | 4. 開拓 |
|-------|-------|-------|-------|

問8 北海道の気候を地域ごとに比較したとき、日本海側の地域と比較した「内陸部」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1. 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。 | 2. 暖流の影響を直接受けるため、日本海側の沿岸部よりも冬の気温が高い。 | 3. 梅雨の時期に湿った空気の影響を強く受けるため、日本海側よりも6月の降水量が多い。 | 4. 夏に太平洋側から吹き込む冷たく湿った気流の影響で、日本海側よりも夏に晴天の日が少ない。 |
|---|--------------------------------------|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。	石狩平野のような低湿地では、かつて河川が激しく蛇行していたため、大雨のたびに氾濫による深刻な洪水被害が発生していました。流路を直線化する工事（ショートカット）を行うことで、増水した河川の水を速やかに海へ排出できるようになり、治水機能が向上しました。これにより、もともと水分を多く含んでいた泥炭地の排水が進み、畧盤目状の区画を持つ大規模な稲作地帯などの農地へと転換することが可能になりました。
問2	答え 1 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わされているのが大きな特徴です。
問3	答え 1 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問4	答え 1 1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を活用した大規模農業が行われている点	北海道の農業は、明治時代以降の開拓によって農家1戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて格段に大きいのが特徴です。広大な十勝平野などを中心に、トラクターなどの大型機械を駆使した大規模な生産体制が整っているため、小麦や小豆などの分野で非常に高い生産割合を維持できています。これに対し、二期作は主に温暖な高知県などの平野部、促成栽培は宮崎県や高知県、段々畑は愛媛県などのミカン栽培などで見られる特徴です。
問5	答え 1 西側に石狩平野、東側に十勝平野	北海道の中央部にある大雪山系などの山地を境にして、西側（日本海側）には石狩川の下流に広がる石狩平野があり、東側（太平洋側）には大規模な畑作が行われている十勝平野が位置しています。
問6	答え 1 輪作	同じ土地で同じ作物を作り続けると、土壌の養分が偏ったり病害虫が発生しやすくなったりする「連作障害」が起こります。これを防ぎ、地力を維持するために複数の作物を計画的に組み合わせる栽培します。二毛作は1年間に2種類の異なる作物を育てること、二期作は同じ作物を1年に2回育てること、転作は米の生産調整などで別の作物を育てることを指します。
問7	答え 1 客土	石狩平野などの低湿地には、枯れた植物が腐敗せずに堆積した「泥炭地」が多く分布しており、そのままでは水はけが悪く養分も乏しいため、稲作には向きませんでした。そこで、別の場所から肥沃な土や砂を運んでくる「客土（きゃくど）」という技術が大規模に行われました。これにより土壌の質が向上し、現在のような大規模な稲作地帯へと発展した歴史があります。選択肢にある「干拓」は海や湖を陸地にすること、「輪作」は同じ土地で異なる種類の作物を交互に栽培することを指します。
問8	答え 1 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。	北海道の日本海側は冬の季節風の影響で雪が多くなりますが、内陸部は山地によってその湿った空気が遮られるため、雪や雨の量が抑えられます。一方で、内陸部は地表の熱が逃げやすい盆地構造を持つ場所が多く、冬の寒冷な気候は沿岸部よりもいっそう厳しくなるという対照的な特徴を持っています。